

2019年8月31日 北海道子どもの本のつどい札幌大会時に開催された総会にて、参加者より『はじめてのはたらくるま』の出版に関して問題提起がなされました。出席者で話し合いをし、北海道子どもの本連絡会として、この本の出版に【反対】の立場であると全員一致で同意しました。

ここに報告するとともに、一連の経緯を調査しまとめました。

北海道子どもの本連絡会 事務局 沼田陽子



(書名) はじめてのはたらくるま

(副書名) BC キッズくわしい解説つき! 3~6歳向けステップアップ知育ずかん

講談社ビーシー/編 講談社 2018年11月18日発行 ISBN978-4-06-514299-8

この本についての出来事 (時系列)

2018年11月17日 発刊

2019年 2月ごろ インターネット上にこの本について発言が見られようになる。

2019年4月18日 新婦人しんぶんに出版社との経緯説明取材の記事掲載。(P3)

2019年5月 親子読書地域文庫全国連絡会(親地連)が申し入れ書を提出。(P4)

6月 2日 日本子どもの本研究会が意見表明。

日時未確認だが同時期 子どもの本・九条の会 意見表明。

日本児童文学者協会 意見表明。

6月20日 「子どもと読書」436号に申し入れ書を提出した事が掲載される。

7月22日 講談社BCが増刷しないとプレスリリースを出す。(p5)

この対応を受けて報道が広がる (新聞記事検索利用 G-Search データベースサービス)

7月24日 共同通信 幼児向け乗り物図鑑に戦車 講談社、「不適切」と増刷中止
朝日新聞デジタル 幼児向け「はたらくるま」図鑑に戦車 不適切との指摘

7月25日 河北新報(2頁) 「はたらくるま」に戦車 講談社、「不適切」指摘で増刷中止

京都新聞(朝刊32頁) 幼児向け車図鑑に戦車

中国新聞(朝刊社会) 幼児向け車図鑑に戦車 講談社

沖縄タイムズ(朝26) 幼児向け図鑑に戦車

熊本日日新聞(朝三社) 幼児向け車図鑑に戦車/「不適切」講談社が増刷中止

長崎新聞(23頁) 幼児向け図鑑に戦車

朝日新聞(東京夕10) 幼児向け図鑑に戦車は「不適切」/講談社が増刷中止

東京新聞(夕刊8頁) 「はたらくるま」に戦車 講談社「不適切」と増刷中止

中日新聞(夕刊8頁) 戦車ははたらくるま?

講談社、幼児向け図鑑 不適切指摘で増刷中止

7月26日 フジテレビ めざましテレビ(テレビ欄) 幼児向け図鑑に戦車は不適切?

関西テレビ めざましテレビ(テレビ欄)

「はたらくるま」図鑑に戦闘機 「適切でなかった」増刷せず

7月27日 毎日新聞（西部朝刊22頁）

幼児向け図鑑「はたらくくるま」に戦車 作家団体が違和感 出版社「適切でなかった」増刷せず

7月28日 毎日新聞（大阪朝刊26頁）

幼児向け図鑑：「はたらくくるま」に兵器 陸海空自6ページ割く 相次ぐ違和感、講談社系増刷せず

8月 3日 しんぶん赤旗電子版 幼児向け図鑑「はたらくくるま」（P6～P7）

8月 6日 しんぶん赤旗電子版 要請に嫌がらせ許されない 「はたらくくるま」問題新婦人が声明

*新日本婦人の会に対して、改憲と排除主義の極右勢力から電話による嫌がらせや事実をゆがめる悪質な内容がインターネット上で拡散されているとして、「断固抗議し、法的措置も検討する」としている。声明では「地震や豪雨など災害現場で懸命にがんばる自衛隊の姿に心を打たれ、この若者たちを戦場に送るなど運動してきた」と強調。

8月20日 「子どもと読書」437号で講談社の対応について報告。

8月31日 つどいの総会でこの件について提案がなされ、話し合いの結果、「反対」との意見で一致

9月30日 北海道子どもの本連絡会「ひろば」150号に同封するため、ネットで確認した事項

①ネット書店の在庫

楽天ブックスに10点在庫あり

Amazon・紀伊國屋書店ウェブストア・e-hon・TSUTAYA・HMV&BOOKS・Honya club
7net（セブンネット）・honto、には在庫なし

②北海道内図書館所蔵状況（北海道立図書館 HP 横断検索利用）

<https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/service/cross/index.html>

所蔵図書館（所蔵は各1冊）	分類記号（E＝絵本 537＝自動車）	館内所蔵場所
千歳市立図書館	Eハ	本館
恵庭市立図書館	A/E/ハ	恵庭分館 閲覧室
京極町生涯学習センター湧学館	Eハジ	児童図書
赤平市図書館	Eコ	本館 開架
わっさむ町立図書館	Eハ	水色
置戸町立図書館	Eコ	やまびこ号 のりもの絵本と本
帯広市図書館	53.7ハ	本館 書庫
士幌町したしみ図書館	Eハ	児童
国立国会図書館（全国所蔵も確認可）		

*WEB-OPACに参加していない図書館もあるため、道内すべての図書館の状況ではありません。

③その他

ハテナブログ ibenzo <https://www.netlorechase.net/entry/2019/08/08/070000>

*既刊の子ども向け図鑑とこの本について調査比較している記事



新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

今週の紙面

- 2面 女性ニュース/国会
- 3面 読者のページ/まんが/乱雑パズル
- 4~5面 種子法廃止後/はたらく/ホット
- 6面 帯地で作るポシェット/つくりおき/母の歴史
- 7面 新婦人のページ/主張/女性差別撤廃条約



神奈川・海老名市 下小牧みち子

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

絵本『はじめてのはたらくくるま』に戦車や戦闘機がズラリ

街で見かける大好きな動く車たちが満載!



本の帯には、街で見かける好きな動く車たちとあるが、先日墜落したF35A戦闘機や潜水艦、地对空ミサイルなど、街見かける車ではないものも満載。表紙の帯をはずすと、自衛官が「自衛隊車」に乗り小銃を構える姿が現れる。

あけてトップ
絵本『はじめてのはたらくくるま』(講談社)

1シー/講談社は、3歳から6歳向けの絵本図鑑シリーズの最新刊です。子どもが大好きな消

人気アニメやゲームを使つた子ども向けの自衛隊宣傳が身の回りに増え、さらに幼児向けの絵本にまで。安倍首相による「自衛官募集」自治体は非協力」の発言を機に自治体や、教育の場で動きが強まっています。身近で「なんか気になる」と思つたら、行動へ。各地から声を上げるアクションが広がっています。

新婦人

自衛隊と子ども

「キャッチしたら」行動、各地で



「子どもにも与える影響をもっと考えてほしい」と出版社に話す会員

ます。参加者は口々に「これらには有事になれば交配と直結する。他の車とは明らかに違う」「自分の考えや立場をまた決められない子どもたちに、こんな写真を提供するのはどうか」「編集部は一度も逡巡しなかったのか」と不安や疑問を訴えま

同社は「初めてこうした意見を聞いた。どう見せるかにこだわり、その基準だけで選んでいた。議論した方がいいということがわかった。スタッフで共有し、検討していきたい」と答えました。社会的影響力を考えると、参加したゆり子さん(29)は「自衛隊が有事の時、どんなことをする可能性があるか想像するに至らなかったという編集者の話を聞き、そういう社会になってきているのか、思考停止していると思いました。だからこそ、私たちがリアリティを持って話すことが大事と感じました」と。裕子さん(39)は、4人の子を育てている

新婦人は近づく戦争の足音をキャッチし、平和と子どもをしあわせを願つて1982年に結成。創立当時から軍国主義教育反対、「戦争オモチャをなくす」「結成大会」を掲げ、自衛隊や戦争の賛美反対、おもちゃの販

「身の内側で動く車を集めた(裏表紙説明)と言いますが、ちっとも「身の回り」感はなく、まるで軍事図鑑です。さっそく出版社へさっそく、掲載の経緯を聞き、子育て中の会員らで東京都文京区にある出版社「講談社ビージ」を訪ねました。編集長の寺崎さんは、「同シリーズの『のりものずかん』が売れ行きがよく、その第二弾として初めて自衛隊を入れて昨

「政治的意図はない」と説明しますが、取締役編集局長の本郷さんは「乗りのもの図鑑は需要が高く、この本が世の中から受け入れられたら、今後」と話し

5月22日号は休刊です

朗読日は、印刷所からの発送が10連休中となるため、会員・読者のみなさんへの配慮が通常の遅れ、木曜日まで届かないことも予想されます。ご迷惑をおかけいたします。



人アニメをモチーフにした自衛隊のポスター

講談社ビーシー、講談社へ申し入れ

2018年11月発行の『はじめてのはたらくるま』（3～6歳向けステップアップ知育ずかん）講談社ビーシー編集／講談社発行／1000円（税抜き）ISBN978-4-06-514299-8に、りくじょうじえいたい1、りくじょうじえいたい2、こうくうじえいたい、かいじょうじえいたいの車両が6ページにわたって掲載されています。表紙には銃をかまえて自衛隊員が乗っている高機動車の写真も載っています。いくらカッコいいからと言って、戦車を『はたらくるま』に載せていいのでしょうか？ 親地連世話人会では討議を重ね、次のような申し入れ書を講談社に出しました。

講談社様
講談社ビーシー様

2019年5月
親子読書地域文庫全国連絡会
代表 原 良子
世話人一同

『はじめてのはたらくるま』について

私たち親子読書地域文庫全国連絡会は、1970年の発足以来、「すべての子どもに読書のよこびを！」を合言葉に活動を続けてきました。私たちが目指してきたことは、生まれや環境に縛られることなく、すべての子どもたちが多種多様な本と出会い、喜びや悲しみ、感動や励まし、希望や夢とともに生きる力を見だし、現実の社会をたくましく生きていくことです。子どもたちの幸せな現在と子どもたちの明るい未来を、本の力を通して、可能にすることです。

今日、多文化共生は社会の大きな要請となっています。子どもたちには、歴史や文化、言語や宗教、肌の色や嗜好の違いを超えて、さまざまな国や人びとと出会い交流し、お互いの違いを認め合い理解しあえる寛容な社会の実現に向かって歩んでほしいと願っています。長い歴史を通して私たち人類は、争うことの虚しさを痛感し、お互いの利害や憎悪を超えて歩み寄る方法を学んできたと思います。

そうしたことを可能にするには、どのような本を子どもたちに手渡したらいいのか、私たちは慎重に考え、選びたいと思います。特に学齢前の幼児を対象とした本については、作る側も手渡す側も、大人に対するそれとは全く比較にならない大きな責任を伴うものであると考えます。今回貴社が刊行された標記の本には、自衛隊の車両などが6ページにわたって掲載され、あたかも戦うことが日常の一場であるかのような印象を与えるものとなっています。あえて3歳からの幼児に向けての本として発行されているなかに、このような写真がなんらの躊躇もなく掲載されていることに、私たちは驚きとともに大きな憤りを感じざるを得ません。

この本の発行についてぜひ熟慮をお願いします。人気のシリーズであるのであればなおのこと、若い子どもたちに向けての本作りのあり方を今一度見直してください。幼ければ幼いほど、手にする本の影響は相対的に大きくなります。戦争について何にも知らない子どもたちに向けて、戦争を肯定するような本をあえて出す必要があるのでしょうか。

貴社の慎重な対応を切にお願いいたします。

BCキッズ「はじめてのはたらくくるま英語つき」につきました

弊社が編集いたしました「はじめてのはたらくくるま 英語つき」（2018年11月講談社発行）20ページ~25ページの記述につきました、以下の通り、お知らせ申し上げます。

今回「はじめてのはたらくくるま」のなかで、「くるま」というカテゴリーに入らない乗り物、武器としての意味合いが強い乗り物が掲載されていることに関しまして、読者の皆様方からご指摘やお問い合わせをいただきました。

この件につきました、弊社は当該の書籍が3~6歳という未就学児を対象とした「知育図鑑」として適切な表現や情報ではない箇所があったと考えております。本書についてはこれ以降の増刷は行わないこととしました。

今後、皆様方のご指摘やご意見を活かして、「図鑑」のジャンルに限らず、書籍の編集、発行をする際には、より細心の注意を払い、適確な情報を読者の皆様お届けられるよう、一層努力して参る所存でございます。

株式会社 講談社ビーシー

申し込み

記者募集・見学会

主張とコラム

電話相談

キーワード

PC スマホ

しんぶん 赤旗電子版

Akahata digital edition

電子版のお申し込み

● 日刊紙が全ページ読める ● 過去1年分の検索ができる

いいね! 4

シェア

0

ツイート

LINEで送る

2019年8月3日(土)

幼児向け図鑑「はたらくくるま」

開いて驚き 兵器ずらり

「えっ、兵器がずらり」。自衛隊の戦車や戦闘機などの写真を掲載した幼児向け知育図鑑『はじめてのはたらくくるま 英語つき』について、大手出版社・講談社の子会社「講談社ビーシー」は2日までに「適切な表現や情報ではない箇所があった」として今後増刷しないとしました。この本をめぐるのは、児童文学関係者や新日本婦人の会などが同社に懸念を伝えていました。(取材班)

講談社ビーシー 増刷せず

同書は、3～6歳の幼児を対象とし、昨年11月に講談社が発行。全30ページのうち6ページにわたり自衛隊車両などを紹介。陸上自衛隊の戦車や装甲車、地对空誘導弾パトリオット(PAC3)を搭載した車両だけでなく、“車”ではない航空自衛隊のF35A戦闘機、海上自衛隊のイージス艦まで掲載しています。



(写真) 「はたらくくるま」として掲載された自衛隊の戦闘機、護衛艦など

こうした内容に、日本子どもの本研究会や親子読書地域文庫

全国連絡会、日本児童文学者協会が、幼児向けの本であることを念頭に「戦争に使う乗り物を普通の車と同列にとらえられることに大きな不安」などと意見を表明していました。

講談社ビーシーは7月22日、自社のウェブサイトで、今後は増刷しないと発表しました。本紙の取材に講談社ビーシーの担当者は戦闘機を掲載したことについて「さまざまな乗り物を子どもたちに見せたかった。政治的な理由はまったくない」と説明。「幼児向けの知育図鑑に自衛隊の装備を掲載するのであれば適切な方法があった。今回の形は不適切だった」と答えました。

同社と懇談した新日本婦人の会は「店頭では本が帯封され中身が見えません。孫のために買ったなら驚いたという声も届きました」といいます。同社に「戦争や軍事攻撃は、破壊や人が死ぬことにつな

がる。それを前提とした乗り物を町で見かける『はたらくくるま』として紹介していることにとっても違和感がある」と伝えました。増刷中止に対し「当然のことです。幼児向けの図鑑にF35A戦闘機や地对空誘導弾PAC3、イージス艦など現在問題となって議論されているものをちゅうちょなく掲載することには驚きでした」。

「子どもの本・九条の会」も同社と懇談しました。会報で「“戦争の道具である兵器は載せない”が、児童書出版の常識であったはず」と訴えます。

同会はこう警鐘をならします。「子どもの本の中に、戦車などの兵器がなぜ“はたらくくるま”のなかまとしてあるのか。幼児向けの図鑑にこれまではなかったことです。こういったものが子ども文化や教育の中に受け入れやすい形でじわじわと知らないうちに入ってくることに警戒感を感ずます。鈍感であってははいけません」

本質的に違う

緒方蘭弁護士の話

幼児向けの本に「はたらくくるま」として掲載するのは、本来、救急車やブルドーザーなど私たちの暮らしを助ける身近なものであり、戦車や戦闘機など人を傷つける兵器を掲載することは本質的に違います。

そもそも憲法9条2項から、日本が攻撃能力を有する兵器を保持することに疑義があります。最近の自衛隊は、「必要最小限度の実力組織」という政府解釈すら捨てて、他国を攻撃する兵器を保有し、アメリカから高額兵器を「爆買い」するなど変容しています。



幼児向けの本に兵器を載せることは、子どもが人を傷つけることを身近に感じてしまうだけでなく、9条改憲や自衛隊の変容を受け入れ、自衛隊を海外で戦争する軍隊に変質させる世論づくりを後押しさせるものにもなります。そのような流れに対して毅然（きぜん）と「掲載をやめてください」と声をあげることは必要なことです。